

に県の定期見直しの中で、必要な時期に市街化区域編入ができる一般保留地区と位置付けを行っています。

問 市は、企業誘致についてはオーダーメイド方式を考えているようだが、工場建設ができる用地整備ができていない中で、企業誘致の実現を早めることは難しいのではないか。

市長 市では企業誘致の広い場所を確保できません。また、開発によるリスクをできるだけ最小限に食い止める、企業誘致の見通しが立った段階で、区域の編入とか用地造成をできるようにします。

誘致に本腰を入れて

問 このような状況では岩沼に企業はこないのではないか。県に土地を買ってもらうとか、市が土地を買って整備するとか、もっと本腰を入れるべきでないか。

市長 県ではいろいろな問題がありできません。市には買い上げる力はありません。

問 一般保留地区の中で、企業誘致を誰が進めるのか。市長自らか、地権者か、

県か。
市長 それぞれのケースがありますが、まず岩沼市として積極的に誘致に力を入れていきます。

防犯対策



穴戸 幸次

問 駅前交番設置の今後の実施計画について伺う。

市長 この実施計画は県警本部で考えることと、岩沼市としてどう進めていくかということですが、まず岩沼市が進めている駅前整備との関連もあり、交番設置の前提となる用地について所有者のJR東日本と協議を進め、購入できた段階で速やかに岩沼警察署を通じて県警本部に早期に設置するよう要望をしていきます。

交番格上げに向けて

問 千貫駐在所の交番格上げの陳情に対する市行政の対応について伺う。

市長 西部地区4団体の代

表の方々がこられ、岩沼市としても支援をしてもらいたい要望があり、岩沼警察署に私が直接伺い、署長に交番格上げについての要望を行っています。

問 交番格上げの今後の対応について伺う。

市長 地域の要望があり(警察官が)1名から2名体制になつてきていることですが、実際のところ不在の時が多かつたりしたので、人的な面での補強をしてもらえるように努力します。

最終的には、県警本部の判断ですが、人口増の地区でもあり、引き続き要望をしていきます。



千貫駐在所

生活保護行政



渡辺 邦信

問 生活保護の受給世帯が年間で2倍となった。保護の相談、申請件数の推移状況をどう認識しているか。

市長 件数が相当増えてきている中、担当職員の仕事量が相当増え、全国で相当苦慮している状況です。岩沼市は他市と比べそんなに急に増えていませんが、市として間違いのない生活保護行政を進めたいと思います。

就労支援員の配置を

問 生活保護の受給者の増員や保護費支給の増額等に対しどう取り組んだか。

健康福祉部長 受給者増では、ハローワーク仙台を中心にを行ったワンストップサービスに参加し、住居や生活に困窮する離職者や各支援施設を容易に把握、選択できるように、福祉と雇用部門の窓口を一つにして必要

な手続きが行える環境づくりを行いました。支給増では、医療機関からの4500件のレセプト点検や、働ける年齢層を対象に**査察指導員**がケースワークに同行し、面接を行い、就労指導を行いました。

問 生活保護受給者の就労支援員を配置してはどうか。

健康福祉部長 生活保護相談者や被保護者には、年齢や勤務体制、心身の状況によって離職せざるを得なかった人がいます。これらの方々の経済自立に向け、現在、就労支援員の配置について検討を進めています。

多目的グラウンドの整備充実



酒井 信幸

問 多目的グラウンドの土が硬い。土の入れ替えなどは考えられるか。

教育長 多目的グラウンドの改善は、競技に支障が出ないように対処したいと考えています。
教育次長 土の入れ替えは

